

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 7年 6月 17日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県鹿島市大字高津原62番地1

団 体 名 特定非営利活動法人
さが西部市民活動サポートセンター・フロンティア

代表者職・氏名 理事長・山口 洋一

電 話 番 号 0954-63-4571

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人さが西部市民活動サポートセンター・フロンティア
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日から令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

- (1) 一般市民：特に高齢者が認知症にならずに元気に暮らせる環境
- (2) CSO：順調な運営（特に会計処理）ができて、団体のミッションに向かって活動ができる環境

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

高齢者にExcelを使ってチラシや行政の申請書を手本とし、2次元空間の移動・回転等を駆使しながら仕上げる指導を行った。これによって脳の活性化を促し、認知症予防及び認知症の進行速度遅延化を推進することができた。

また、フロンティアが得意とするICT技術を使って、CSOの会計担当者をサポートすることによって初めて会計担当になった方でも順調な会計処理ができるようになった。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

5 寄附金活用事業実績 : (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
認知症予防事業	①目的：高齢者の認知症予防 ②対象者：一般市民 ③実施内容：パソコンのExcelを使い2次元空間の移動・回転操作により目的の文書作成指導を行った	①実施日時：毎週 月曜：13:30～ 火曜：10:00～ 13:30～ 水曜：15:00～ 何れも2時間 ②実施場所：フロンティア事務所	133,832	133,832
CS0サポート事業	①目的：主にCS0の会計担当者のICTサポート ②対象者：CS0会計担当者 ③実施内容：Excel3級のテキストを用いた指導によりExcelの基礎を習得させる	①随時 ②実施場所：フロンティア事務所		
計			133,832	133,832

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		212,724
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	212,724
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	210,800
	前年度控除額(県事務経費)還付分	1,924
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		212,724
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	133,832
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	78,892
	返礼品等の調達に係る費用	64,100
	返礼品等の送付に係る費用	9,256
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	5,536

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<http://www.cso-frontier.com/>